原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/11/09号

マーケットエッジ株式会社 小菅努

取引所株価指数証拠金取引 くりっく株365



【現状確認】



（出所）LSEGよりマーケットエッジ作成

米中間選挙後に急落

NY原油先物相場は、1バレル＝86.65ドルまで急落して9月1日以来の安値を更新した後、90ドル台後半まで下げ幅を縮小する展開になった。中東情勢の緊迫化を背景に、10月30日には104.99ドルまで値上がりしていた。しかし、11月入りしてからは米国とイランの停戦協議再開に向けた外交調整が活発化したことで、上げ一服となった。また、11月3日に米中間選挙の投開票が行われた。イラン戦争の終結に意欲を示す民主党が上下両院で多数派を奪還したことを受けて、停戦協議が加速するとの見方が強くなったことも、原油相場を大きく押し下げている。

ただし、中東情勢は依然として緊迫しており、強い供給不安が維持された。ホルムズ海峡では11月5日と6日にタンカーが損害を受けたと報告されている。詳細は不明だが、中東の原油流通環境は依然として不安定な状態にあることが確認されている。また、イエメン武装組織フーシ派のサウジアラビアに対する攻撃は続いており、原油供給環境が正常化するのかは、不透明感が強い状態が続いている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（10月30日時点）は、原油が前週比87万バレル減、ガソリンが22万バレル減、石油精製品が357万バレル減となった。

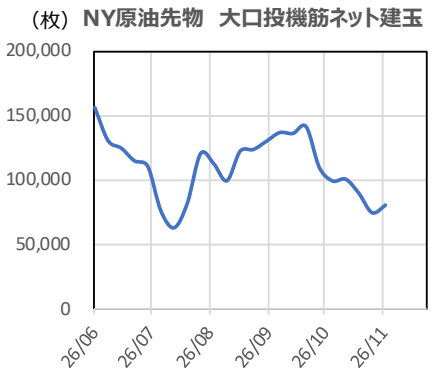
本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

©Marketedge Co.,Ltd. All Rights Reserved.

【展望】

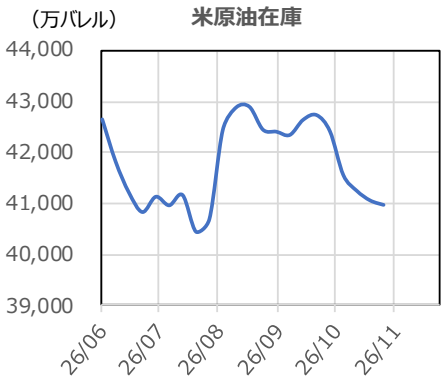
中東情勢で揺れ動く、停戦協議への期待が高まると調整売り

中東情勢に強く左右される不安定な地合が続く。前週は米国とイランの停戦協議再開への期待を織り込む形で急落したため、その地合が引き継がれると80～90ドル水準で上値の重い展開になろう。カタールの仲介で米国とイランの停戦協議再開に向けた調整が進んでおり、特に停戦協議再開の見通しが立つと、大きく値を崩す可能性がある。米国とイランの歩み寄りがみられるかに注目したい。



（出所）CFTCよりマーケットエッジ作成

米中間選挙では民主党が大勝したが、トランプ米政権内からもイラン戦争が共和党敗北の一因との声が聞かれる。中間選挙の結果を受けて、これ以上の戦争継続は困難との見方が強まると、上げ一服感が強まろう。ただし、逆にイランに対する追加攻撃を主張する動きも報告されているだけに、トランプ米大統領が緊張感を高める発言を行うと、100ドル水準に迫る急伸地合に転じる可能性もある。中東情勢のリスク評価次第の不安定な地合が続くため、上下双方への10ドル程度の振れ幅を想定しておく必要がある。



（出所）EIAよりマーケットエッジ作成

また、中東の軍事的な緊張感は解消されていない。前週はホルムズ海峡で多数のタンカーが損傷したが、タンカーへの攻撃や機雷への接触などの報告が増えていった場合には、原油相場の上振れリスクが高まる。また、イエメン武装組織フーシ派のサウジアラビアに対する攻撃で、石油関連施設に大きな被害が生じた際にも、投機買いが膨らむ可能性がある。中東の軍事的緊張が全く解消されていない点には注意が必要だ。



（出所）Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

11月11日に石油輸出国機構（OPEC）、13日に国際エネルギー機関（IEA）の月報の発表がイベントリスクになる。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

©Marketedge Co.,Ltd. All Rights Reserved.

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社 （Marketedge Co., Ltd.）
【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21　BIZ SMART 茅場町 321号
【URL】 https://www.marketedge.co.jp/
【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール
1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報はツイッターで

©Marketedge Co.,Ltd. All Rights Reserved.